

第4章 保健福祉事業の推進

1 健康づくりの推進

(1) 健康づくりの推進

健康づくりの支援は、「磨け！輝け！元気プランつばめ（第3次燕市健康増進計画）」に基づき、特定健康診査や各種がん検診等による早期発見・早期治療と、生活習慣病予防の推進を図り、生活習慣の改善に努めています。

介護予防・日常生活支援総合事業等を通じて、高齢者自身がサービスの受け手ではなく、担い手として活躍しており、家庭や地域で若い世代の元気づくりにも活躍されています。今後も自立して健康で自分らしく生活を送ることができるよう、健康寿命の延伸を目指し、関係機関と連携を図り、健康づくりを進めていくとともに医師会と連携した生活習慣病予防対策にも継続して取り組みます。

1. 健康診査・検診等

① 特定健康診査

生活習慣病の予防および疾病の早期発見・早期治療を目的として、40歳から74歳の国民健康保険加入者を対象に、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき実施される特定健康診査について、積極的に受診勧奨を進め、「第3期特定健康診査等実施計画」を踏まえて、計画的な実施に努めます。

また、特定健康診査時に、つばめ元気かがやきポイント手帳の活用やその人に合った教室や相談会等について周知し、保健指導を実施します。

県と比較して、燕市はメタボリックシンドローム該当者の割合が高い状態で推移しています。生活習慣病の原因となるメタボリックシンドローム予備群・該当者の減少を目指し、広報などでメタボリックシンドロームに関する啓発や各種教室や個別相談会等を周知し参加を促します。

令和2（2020）年2月に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、「完全予約制時間割」による特定健診を実施していますが、受診率の低下が見込まれる状況にあります。新型コロナウイルスの収束の目途がたたない現状においては、安心して受診できる新たな健診体制の構築が課題となっています。

特定健康診査（40～74歳）

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	対象者(人)	12,203	11,705	11,201	10,745
	受診者(人)	7,322	6,321	6,161	6,017
	受診率(%)	60.0	54.0	55.0	56.0
実績	対象者(人)	12,292	11,733	11,539	11,700
	受診者(人)	6,406	6,167	6,123	3,911
	受診率(%)	52.1	52.6	53.1	33.4
計画比	受診者(%)	87.5	97.6	99.4	65.0
	受診率(ポイント)	-7.9	-1.4	-1.9	-22.6

■計画

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標	対象者(人)	10,299	9,869	9,461
	受診者(人)	5,973	5,823	5,677
	受診率(%)	58.0	59.0	60.0

メタボリックシンドローム予備群（40～74歳）

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
男性	受診者(人)	2,926	2,786	2,801	1,787
	予備群(人)	438	381	413	266
	目標(%)	10.0	14.0	13.0	12.0
	実績(%)	15.0	13.7	14.7	14.9
	計画比(ポイント)	-5.0	0.3	-1.7	-2.9
女性	受診者(人)	3,480	3,381	3,322	2,124
	予備群(人)	195	150	159	104
	目標(%)	5.0	5.3	5.3	5.2
	実績(%)	5.6	4.4	4.8	4.9
	計画比(ポイント)	-0.6	0.9	0.5	0.3

■計画

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
男性	目標(%)	10.0	10.0	10.0
女性	目標(%)	5.0	5.0	5.0

メタボリックシンドローム該当者（40～74歳）

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
男性	受診者(人)	2,926	2,786	2,801	1,787
	該当者(人)	918	937	944	602
	目標(%)	25.0	28.0	27.5	27.0
	実績(%)	31.4	33.6	33.7	33.7
	計画比(ポイント)	-6.4	-5.6	-6.2	-6.7
女性	受診者(人)	3,480	3,381	3,322	2,124
	該当者(人)	442	433	410	263
	目標(%)	10.0	11.5	11.0	10.5
	実績(%)	12.7	12.8	12.3	12.4
	計画比(ポイント)	-2.7	-1.3	-1.3	-1.9

■計画

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
男性	目標(%)	25.0	25.0	25.0
女性	目標(%)	10.0	10.0	10.0

② 後期高齢者健診

75歳以上の高齢者を対象とした健康診査は、新潟県後期高齢者医療広域連合から、燕市が委託を受けて実施します。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	対象者(人)	12,222	12,523	12,771	12,541
	受診者(人)	3,197	3,384	3,317	3,261
	受診率(%)	26.2	27.0	26.0	26.0
実績	対象者(人)	12,148	12,365	12,598	12,706
	受診者(人)	2,901	2,951	3,100	1,110
	受診率(%)	23.9	23.9	24.6	8.7
計画比	対象者(%)	99.4	98.7	98.6	101.3
	受診者(%)	90.7	87.2	93.5	34.0
	受診率(ポイント)	-2.3	-3.1	-1.4	-17.3

■計画

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診率(%)	26.0	26.0	26.0

③ 各種がん検診（65歳以上）

がん検診の受診率向上を図るため、定期受診による健康管理の重要性を普及啓発するとともに受診勧奨の実施、医療機関検診、休日検診など受診者が受けやすい検診体制づくりに努めています。

■実績

区分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込み)
肺がん 検診	対象者(人)	16,896	17,078	17,285	17,285
	受診者(人)	7,093	7,054	7,127	5,701
	目標(%)	—	47.0	47.8	48.5
	実績(%)	42.0	41.3	41.2	33.0
	計画比(ポイント)	—	-5.7	-6.6	-15.5
胃がん 検診	対象者(人)	16,896	17,078	17,285	17,285
	受診者(人)	2,761	2,588	2,524	2,019
	目標(%)	—	32.2	36.7	41.1
	実績(%)	16.3	15.2	14.6	11.7
	計画比(ポイント)	—	-17.0	-22.1	-29.4
大腸がん 検診	対象者(人)	16,896	17,078	17,285	17,285
	受診者(人)	5,573	5,453	5,667	4,533
	目標(%)	—	40.7	43.0	45.3
	実績(%)	33.0	31.9	32.8	26.2
	計画比(ポイント)	—	-8.8	-10.2	-19.1
乳がん 検診	対象者(人)	10,391	10,491	10,565	10,565
	受診者(人)	1,280	1,039	1,138	910
	目標(%)	—	41.9	43.9	45.9
	実績(%)	21.5	21.9	20.6	19.3
	計画比(ポイント)	—	-20.0	-23.3	-26.6
子宮がん 検診	対象者(人)	9,112	9,211	9,206	9,206
	受診者(人)	1,644	1,602	1,661	1,328
	目標(%)	—	60.9	61.0	61.5
	実績(%)	22.3	21.3	21.5	21.2
	計画比(ポイント)	—	-39.6	-39.5	-40.3

※ 受診率は第2次燕市総合計画に基づき平成30年度から変更されているため、平成29年度の目標(%)、計画比(%)は記載していません。

<肺がん検診・胃がん検診・大腸がん検診受診率の計算式>

「当該年度の受診者数」/「当該年度の対象者数」×100

<乳がん検診・子宮がん検診受診率の計算式>

(「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」-「前年度および当該年度における2年連続受診者数」)/「当該年度の対象者数」×100

【当該年度の対象者数】

(国勢調査人口)-(就業者数)+(農林水産業者数)-(要介護4・5の者の数)-調整値

※ 各種がん検診については、健康増進計画と重複するため、本計画では計画値を設定しません。

④ その他の健（検）診

各種健（検）診の受診率が向上するよう啓発活動を行います。

骨粗しょう症検診（65歳・70歳女性）

骨粗しょう症の早期発見・早期治療につなげるとともに栄養・運動等の生活習慣を見直し、骨折予防を目指します。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	対象者(人)	—	1,287	1,263	1,148
	受診者(人)	—	270	278	264
	受診率(%)	—	21.0	22.0	23.0
実績	対象者(人)	1,259	1,267	1,260	1,253
	受診者(人)	278	300	295	198
	受診率(%)	22.1	23.7	23.4	15.8
計画比	対象者(%)	—	98.4	99.8	109.1
	受診者(%)	—	111.1	106.1	75.0
	受診率(ポイント)	—	2.7	1.4	-7.2

■計画

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診率(%)	23.5	23.5	23.5

糖尿病検診（65～70歳）

糖尿病予防のため、健康診査の結果で軽度糖代謝異常の人を対象に75gブドウ糖負荷試験を実施し、検診時には健康教育も併せて行い生活習慣の改善や受診行動につなげていきます。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	対象者(人)	180	310	300	290
	受診者(人)	58	47	45	44
	受診率(%)	32.2	15.2	15.0	15.2
実績	対象者(人)	315	395	335	215
	受診者(人)	47	75	57	未実施
	受診率(%)	14.9	19.0	17.0	-
計画比	対象者(%)	175.0	127.4	111.7	74.1
	受診者(%)	81.0	160.0	126.7	-
	受診率(ポイント)	-17.3	3.8	2.0	-

※糖尿病検診については、健康教育と重複するため、本計画では計画値を設定しません。

歯周疾患検診（70歳）

歯周疾患の早期発見・早期治療を目指し、市内協力医療機関において、口腔内検査による歯周疾患検診を実施します。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	対象者(人)	-	1,809	1,838	1,599
	受診者(人)	-	289	312	288
	受診率(%)	-	16.0	17.0	18.0
実績	対象者(人)	1,408	1,382	1,383	1,203
	受診者(人)	160	156	128	125
	受診率(%)	11.4	11.3	9.3	10.4
計画比	対象者(%)	-	76.4	75.2	81.3
	受診者(%)	-	54.0	41.0	34.7
	受診率(ポイント)	-	-4.7	-7.7	-7.6

■計画

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診率(%)	10.4	10.4	10.4

長寿歯科健診（76歳・80歳）

高齢者自身が口腔機能維持を実践し、口から食べられる喜びを実現させ、充実した生活が送られるよう、高齢者の特性を踏まえた歯科健診を実施します。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	対象者(人)	1,969	1,707	1,875	1,719
	受診者(人)	492	171	244	206
	受診率(%)	25.0	10.0	13.0	12.0
実績	対象者(人)	1,932	1,717	1,882	1,724
	受診者(人)	194	144	206	207
	受診率(%)	10.0	8.4	10.9	12.0
計画比	対象者(%)	98.1	100.6	100.4	100.3
	受診者(%)	39.4	84.2	84.4	100.5
	受診率(ポイント)	-15.0	-1.6	-2.1	0

■計画

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診率	13.0	14.0	15.0

2. 保健事業

① つばめ元気かがやきポイント事業（65歳以上）

いつでも・どこでも・気軽に・自分のペースで・自分に合った健康づくりに取り組み、健康行動の習慣化を目指した「つばめ元気かがやきポイント事業」は、中高齢者を中心に登録を推進し、その後、働きざかり世代や子どもたちの参加を促進するため、ウェブシステムや「こども手帳」を導入して参加世代の拡大を進めてきました。

高齢者に対しては、望ましい健康習慣定着を図る毎日の記録や自分に合った健康イベントへの参加促進、生活習慣病予防、フレイル予防等の啓発に関する内容を掲載した「つばめ元気かがやきポイント手帳」を配布し、健康行動の定着を図ります。

■実績

区分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込み)
目標	配布件数 (件)	35	4,400	4,800	5,720
実績	配布件数 (件)	21	4,560	4,384	4,000
計画比	配布件数 (%)	60.0	103.6	91.3	69.9

※ 平成 29 年度は「健康手帳」の交付件数。

■計画

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
配布件数 (件)	4,000	4,000	4,000

② 特定保健指導（65歳～74歳）

特定健康診査の結果に基づき、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者および予備群を対象に特定保健指導を実施します。

■実績

区分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込み)
目標	指導率 (%)	57.0	57.5	58.0	58.5
実績	対象者 (人)	486	428	483	309
	実施者 (人)	273	324	357	226
	指導率 (%)	56.2	75.7	73.9	73.1
計画比	指導率 (ポイント)	-0.8	18.2	15.9	14.6

■計画

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
指導率 (%)	73.5	73.5	73.5

③ 人生100年時代の健康サポート事業～高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施～

健康診査・医療・介護・後期高齢に関するデータを相互に連携して、健康づくり・重症化予防・介護予防を一体的に行い、いつまでも健やかに過ごせる社会を実現するため、市民一人ひとりの人生100年時代に向けた健康づくりを進めます。

「人生100年時代の健康サポート事業」

① 高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ^{*1}）

- ア 低栄養防止・生活習慣病等の重症化予防の取組
- イ 重複・頻回受診者、重複投薬者等への相談・指導の取組
- ウ 健康状態が不明な高齢者の状態把握、必要なサービスへの接続

② 通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ^{*2}）

通いの場等において、データ分析等により把握した地域の健康課題をもとに、フレイル予防などの健康教育、健康相談等を実施

事業の実施にあたっては、庁内の関係部署（保健・医療・介護）や地域包括支援センター等が連携し、高齢者の心身の課題に対し保健事業に介護予防の視点を取り入れ、細やかな支援を実施します。

④ 健康教育（65歳以上）

感染対策を講じ、新しい生活様式を踏まえた健康教育を実施します。

加齢に伴う身体機能の低下や病気になる方が増加するため、生活習慣病の予防や健康増進などに関する知識を身に付け、自らの健康管理や健康づくり活動ができるように地区組織や医療機関などと連携を取りながら、一層の支援を進めていきます。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	実施回数(回)	830	1,160	1,170	1,180
	延べ参加者(人)	11,300	19,100	19,200	19,300
実績	実施回数(回)	1,185	1,226	1,216	610
	延べ参加者(人)	19,754	21,375	21,808	11,000
計画比	実施回数(%)	142.8	105.7	103.9	51.7
	延べ参加者(%)	174.8	111.9	113.6	57.0

■計画

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数(回)	1,200	1,200	1,200
延べ参加者(人)	16,800	16,800	16,800

*1 ハイリスクアプローチ：疾患の発症リスク（危険性）の高い対象者に介入し、疾病を予防する方法

*2 ポピュレーションアプローチ：健康障害のリスク改善に向け、集団全体に働きかける方法

⑤ 健康相談（65歳以上）

感染対策を講じつつ、生活習慣の改善や健康増進を目指し効果的なツールや媒体等を活用しながら、一人ひとりに合わせた心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言指導を行います。

■実績

区分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込み)
目標	実施回数（回）	310	210	210	210
	延べ参加者（人）	3,100	2,100	2,100	2,100
実績	実施回数（回）	214	212	173	90
	延べ参加者（人）	1,964	1,854	1,478	740
計画比	実施回数（%）	69.0	101.0	82.4	42.9
	延べ参加者（%）	63.4	88.3	70.4	35.2

■計画

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
実施回数（回）	180	180	180
延べ参加者（人）	1,530	1,530	1,530

⑥ 訪問事業（65歳以上）

健診受診者に対して、健診結果から高血圧、高血糖、脂質異常、腎機能低下、心電図異常のある人や、医療機関からの保健指導依頼のあった人に栄養士、保健師、看護師による訪問指導を実施します。また、オーラルフレイル予防として、歯科衛生士による訪問指導を行うほか、健康相談の必要な方への訪問を実施します。

■実績

区分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込み)
目標	延べ被指導者（人）	370	220	220	220
実績	延べ被指導者（人）	270	300	359	220
計画比	延べ被指導者（%）	73.0	136.4	163.2	100.0

■計画

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
延べ被指導者（人）	360	360	360

⑦ 機能訓練事業（65歳以上）

健康運動指導士による軽運動や作品づくり等を通じて、参加者の心身機能の維持向上に取り組むとともに、参加者同士の交流を通して心の健康の保持増進を図ります。

令和3（2021）年度以降は健康教育と一体的に実施します。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	実施回数(回)	12	12	12	12
	延べ参加者(人)	300	300	300	300
実績	実施回数(回)	15	15	14	13
	延べ参加者(人)	326	218	279	169
計画比	実施回数(%)	125.0	125.0	116.7	108.3
	延べ参加者(%)	108.7	72.7	93.0	56.3

※ 機能訓練事業については、令和3年度以降は「健康教育」と一体的に実施するため本計画では計画値を設定しません。

3. 食育事業

総合的な地域ぐるみの食育推進の視野を持ち、健全な食習慣の実践、食の循環や環境への配慮、食文化伝承、多様な暮らしや新しい生活様式への対応を強化することにより、食を通して健やかで心豊かになることを目指し、「食育プランつばめ（第2次燕市食育推進計画）」に基づき関係者と協働による事業の展開を図ります。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	実施回数(回)	30	50	50	50
	延べ参加者(人)	2,800	13,000	13,000	13,000
実績	実施回数(回)	40	49	45	24
	延べ参加者(人)	9,688	6,290	5,771	2,180
計画比	実施回数(%)	133.3	98.0	90.0	48.0
	延べ参加者(%)	346.0	48.4	44.4	16.8

■計画

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数(回)	45	45	45
延べ参加者(人)	5,800	5,800	5,800

4. 訪問歯科相談事業（歯っぴー相談）

初めて要介護3に認定された在宅の方への「歯っぴー相談」を燕・弥彦在宅歯科医療連携室の歯科衛生士の訪問で実施します。口腔ケアで肺炎を予防し介護状態の悪化を防ぎ、咀嚼・嚥下機能を維持・回復することで、生活の質の向上を図ります。

県の訪問歯科健診事業は、県予算の関係で平成30（2018）年11月に終了となり、令和（2019）年8月に再開したものの、再び急に終了する可能性があるということです。

そのため、令和元（2019）年12月から燕・弥彦在宅歯科医療連携室の協力を得て歯っぴー相談を開始しました。今後は歯っぴー相談の利用者数を評価していくこととします。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	県の訪問歯科健診 受診者数（人）	28	30	32	34
	歯っぴー健診 受診者数（人）	10	12	14	16
実績	県の訪問歯科健診 受診者数（人）	13	5	10	8
	歯っぴー健診 受診者数（人）	11	4	2	5
計画比	県の訪問歯科健診 受診者数（%）	46.4	16.7	31.3	23.5
	歯っぴー健診 受診者数（%）	110.0	33.3	14.3	31.3

■計画

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歯っぴー相談利用者（人）	5	6	7

2 いきいきと活躍できる地域社会づくり

(1) 高齢者の社会参加と活動の場の整備

地域社会を支えるためには高齢者自身がサービスの受け手としてだけでなく、担い手になることが期待されます。

また、高齢者の社会参加は転倒やうつ傾向のリスクを低下させ、介護予防に効果があることがわかっています。

高齢者が生涯学習やスポーツ活動、趣味活動等に積極的に参加するなど、生きがいを持って生活していけるよう、就労や活動の場を提供します。

1. 社会参加事業

① 敬老事業

75歳以上の高齢者を対象に、それぞれの地域において敬老会事業を開催します。なお、燕地区においては、公民館事業として実施し、吉田地区、分水地区においては、まちづくり協議会へ事業を委託して実施します。

令和2(2020)年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止し、敬老会対象者全員に市内店舗で使用できるクーポン券の贈呈を行いました。

新型コロナウイルスの収束の目途がたたない現状においては、安心して参加できる新たな敬老事業のあり方が課題となっています。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	敬老会参加者数(人)	2,750	2,900	2,900	2,900
	敬老記念品等贈呈対象者数(人)	700	600	600	600
実績	敬老会参加者数(人)	2,798	2,721	2,741	未実施
	敬老記念品等贈呈対象者数(人)	564	623	497	539
計画比	敬老会参加者数(%)	101.7	93.8	94.5	-
	敬老記念品等贈呈対象者数(%)	80.6	103.8	82.8	89.8

■計画

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
敬老会参加者数(人)	2,900	2,900	2,900
敬老記念品等贈呈対象者数(人)	600	600	600

② 高齢者の学習活動

高齢者および一般市民が、気軽に参加できる「つばめ目耕塾」などの講座や教室を開催し、学習の機会を提供することで、地域への関心を深め、いきいきとした人生を送るための手助けとなるように、内容の充実に努めます。

また、地域活動を進めるうえで必要な実践力を身につけてもらえるよう、公民館で活動する高齢者や各種サークル等への情報提供など、様々な面から支援します。

③ 高齢者のスポーツ活動

高齢者が健康でいきいきと暮らせるように、運動やスポーツをしたことのない人でも気軽にできる高齢者スポーツや、健康維持に効果のある運動プログラムを紹介し、興味や関心を持つきっかけづくりを図ります。

また、スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブなどのスポーツ推進団体、社会福祉協議会や老人クラブ連合会などの関係団体と連携し、高齢者が無理なく参加できるスポーツ教室やスポーツイベントを開催し、スポーツ活動を支援します。

2. 施設の利用

① 老人福祉センター

高齢者の健康増進とレクリエーションのために、老人福祉センター（2か所）の運営や運営費の補助を行います。

■実績

区分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込み)
目標	利用者数（人）	35,000	35,000	35,000	35,000
実績	利用者数（人）	23,174	19,784	16,717	10,000
計画比	利用者数（%）	66.2	56.5	47.8	28.6

■計画

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用者数（人）	17,000	17,000	17,000

3. 就労支援

① シルバー人材センター運営費補助事業

高齢者の就業の援助を通して、生きがいの充実や社会参加の推進を目的に活動を行うシルバー人材センターの運営費に補助金を交付し、事業の支援を行います。

また、健全運営が維持できるよう、会員組織活動の強化や業務発注量の拡大などについても活動を広報等で周知するとともに、積極的に支援します。

4. 老人クラブ活動の支援

① 老人クラブ補助事業

単位老人クラブと老人クラブ連合会に対して補助金を交付し、健康づくりや介護予防、高齢者の孤立防止や交通安全、防災など、広い範囲において社会貢献の担い手として重要な役割を担っています。

会員数の減少について、高齢者の孤独防止の観点からも歯止めをかけるため、事務局と連携し老人クラブの育成指導と会員相互の親睦を図るとともに、会員増加策の支援を行います。

■実績

区分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込み)
目標	クラブ数 (クラブ)	84	85	85	85
	会員数 (人)	4,300	4,100	4,100	4,100
実績	クラブ数 (クラブ)	85	81	78	78
	会員数 (人)	4,049	3,830	3,588	3,404
計画比	クラブ数 (%)	101.2	95.3	91.8	91.8
	会員数 (%)	94.2	93.4	87.5	83.0

■計画

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
クラブ数 (クラブ)	78	78	78
会員数 (人)	3,400	3,400	3,400

5. 外出支援

① 公共交通運行事業

高齢者世帯や高齢者人口の増加により、交通手段を持たない世帯が増えていくと考えられます。市全体の公共交通網を形成することで、高齢者を含めた市民が住み慣れた地域で日常生活を安心して過ごすことができるように、循環バス「スワロー号」、予約制乗合ワゴン車「おでかけきららん号」及び弥彦・燕広域循環バス「やひこ号」の運行を継続していきます。

今後も高齢者を含めた市民の外出機会の一助として、市民のニーズに対応した公共交通の充実に取り組みます。

3 地域全体で支える基盤整備

(1) 安心して暮らせる地域づくり

高齢者が支援や介護を要する状態となっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、高齢者の日々の見守りや生活支援、災害時の備えなどが、ますます重要となっています。また、認知症のケアや介護する家族への支援など一層の充実が必要です。

このため、民生委員・児童委員、自治会、まちづくり協議会、警察、消防や地域包括支援センター等と連携し、相談支援や医療、介護サービス等の提供とともに、互いに支えあう取り組みを促進し、地域包括ケアシステムを推進します。また、高齢者等の安全確保のため、緊急時における連絡体制の整備に努めます。

1. 災害や感染症対策に係る体制整備

① 避難行動要支援者名簿の整備

災害時に自力または家族の支援だけで避難することが困難な方を、本人から同意を得たうえで避難行動要支援者名簿に登録し、災害時における安否確認、避難支援や、平時における地域での見守り活動に役立てるとともに、災害対策の実効性を高めます。

また、個人情報取り扱いに配慮し、名簿の更新については、自治会長や民生委員児童委員などと連携を図りながら推進していきます。

② 福祉避難所の設置・運営

災害時に指定避難所での避難生活を送ることが困難な高齢者や、障がい者などの方が安心して避難生活を送ることができるよう、福祉避難所設置・運営マニュアルを作成しましたが、全国的に災害の頻発化・激甚化が進んできていることに加え、新たに感染症への不安も続いている現状を踏まえ、より現状に即したマニュアルへと更新し、実効性を高めるとともに、福祉避難所の設置拡充を図ります。

また、広域的災害支援体制の構築については、燕市地域防災計画と整合性を図ります。

③ 大規模災害や新型コロナウイルス感染症等の流行に関する備え

大規模な災害の発生や世界的な感染症の流行などは予測不可能であり、様々な対応が必要となります。平時からの備えが重要であることから、防災や感染症対策についての周知啓発を図り、介護事業所等における避難訓練や研修の実施、必要物資の備蓄、県等と連携した災害・感染症発生時の応援体制などを支援していきます。

なお燕市では、新型コロナウイルス感染症対策として、介護サービス従事者などへのPCR検査への補助事業を行っており、安全・安心な介護サービスの提供に努めています。

(2) 在宅サービスと施設サービスの提供

地域においてそれぞれの生活のニーズに合った住まいが提供され、また、生活支援サービスや施設サービス等を利用しながら個人の尊厳が確保された生活が実現されるよう、生活支援サービス等の充実に努めます。

1. 在宅サービスの充実

① 配食サービス事業

おおむね70歳以上のひとり暮らし、高齢者のみの世帯で世帯員全員が要支援、要介護認定を受けている人などを対象に、週2回以内の配食サービスを実施します。ケアマネジャー等の協力を得ながら安否確認を必要とする方の利用を進めます。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	利用者数(人)	125	110	110	110
実績	利用者数(人)	98	80	90	105
計画比	利用者数(%)	78.4	72.7	81.8	95.5

■計画

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	110	110	110

② 緊急通報システム設置事業

65歳以上のひとり暮らしの高齢者等を対象に、急病や災害時に迅速な対応を図るために、緊急通報装置を貸与します。

また、月に1度、あんしんセンターから連絡を入れ、利用者の見守りを行います。

今後も、高齢者がさらに安心して在宅で生活ができるよう支援していきます。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	利用者数(人)	150	138	139	140
実績	利用者数(人)	131	129	130	135
計画比	利用者数(%)	87.3	93.5	93.5	96.4

■計画

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	135	135	135

③ 徘徊高齢者家族支援サービス（高齢者徘徊探知システム貸与事業）

徘徊の見られる認知症高齢者を介護している家族を対象に、認知症高齢者が徘徊した場合に早期に発見できるようにするため、探知器（携帯 GPS）を貸与します。

地域包括支援センターなどと連携して利用の促進を図ります。

■実績

区分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込み)
目標	利用者数（人）	9	2	2	2
実績	利用者数（人）	2	1	3	2
計画比	利用者数（%）	22.2	50.0	150.0	100.0

■計画

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用者数（人）	3	3	3

④ 老人日常生活用具給付事業

65 歳以上のひとり暮らしで、認知症や心身機能が低下している人を対象に、在宅生活における安全を図るために、火災警報器、自動消火器および電磁調理器の給付を行います。

地域包括支援センターなどと連携して利用の促進を図ります。

■実績

区分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込み)
目標	利用者数（人）	3	5	5	5
実績	利用者数（人）	0	2	1	2
計画比	利用者数（%）	0.0	40.0	20.0	40.0

■計画

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用者数（人）	3	3	3

⑤ 高齢者・障がい者向け住宅整備補助事業

おおむね65歳以上の高齢者で、要支援・要介護認定を受けている人などを対象に、世帯の収入の状況に応じて、バリアフリーなど、自宅の改造に要する費用の一部を補助します。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	利用者数(人)	20	20	20	20
実績	利用者数(人)	23	8	18	20
計画比	利用者数(%)	115.0	40.0	90.0	100.0

■計画

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	25	25	25

⑥ 福祉タクシー介護料金助成事業

要介護3以上の認定者で、自宅や施設、病院間の移動に福祉タクシーを利用する際、ストレッチャーを使用しなければ移動ができない方を対象に、ストレッチャー利用介護料金の一部を助成します。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	利用者数(人)	19	8	8	8
実績	利用者数(人)	6	9	10	10
計画比	利用者数(%)	31.6	112.5	125.0	125.0

■計画

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	10	10	10

⑦ 寝具乾燥サービス事業

要介護3以上の認定者で、寝具の衛生管理が困難な方を対象に、寝具乾燥・消毒および丸洗いの費用を助成します。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	利用者数(人)	40	33	31	29
実績	利用者数(人)	35	32	40	45
計画比	利用者数(%)	87.5	97.0	129.0	155.2

■計画

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	45	50	50

⑧ 紙おむつ支給事業

要介護1から要介護5の認定者で常時紙おむつを必要とする方を対象に、経済的負担の軽減を図るために、紙おむつ券を支給します。

今後の事業継続については、国の動向を注視するとともに、県内他市町村の状況や市の財政負担を考慮しながら適正な対象者及び支給額を検討します。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	利用者数(人)	1,668	1,550	1,550	1,550
実績	利用者数(人)	1,489	1,483	1,562	1,600
計画比	利用者数(%)	89.3	95.7	100.8	103.2

■計画

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	1,600	1,630	1,670

※今後の検討状況に応じて数値に変更が生じる場合があります。

⑨ 訪問理美容サービス助成事業

要介護3以上の認定者を対象に、市内の理美容店の出張理美容サービス費用の助成を行います。

令和2（2020）年度からサービスの対象を理美容店に拡大したため、美容室を利用できることについて周知を図ります。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	利用者数（人）	45	45	45	45
実績	利用者数（人）	54	42	47	55
計画比	利用者数（%）	120.0	93.3	104.4	122.2

■計画

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数（人）	55	60	60

⑩ 社会福祉法人等による生計困難者に対する利用者負担軽減事業

市民税非課税世帯で一定の要件に該当する方を対象に、社会福祉法人等が提供するサービス費用の利用者負担額軽減制度を実施します。

受給者に対して、年に1度更新の勧奨案内を送付するとともに、制度の周知を図ります。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	対象者数（人）	実施	190	194	199
	助成法人数（法人）	実施	12	12	12
実績	対象者数（人）	162	165	149	150
	助成法人数（法人）	10	10	10	10
計画比	対象者数（%）	-	86.8	76.8	75.4
	助成法人数（%）	-	83.3	83.3	83.3

■計画

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者数（人）	155	155	155
助成法人数（法人）	10	10	10

⑪ 在宅介護保険サービス利用者負担軽減事業

市民税非課税世帯で一定の要件を満たす生計困難者が在宅で自立した生活を営めるようにするために、「社会福祉法人等による生計困難者に対する利用者負担軽減事業」とは別に、在宅の介護保険サービス利用料の一部を軽減します。

■実績

区分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込み)
目標	対象者数 (人)	40	20	20	20
実績	対象者数 (人)	13	9	10	10
計画比	対象者数 (%)	32.5	45.0	50.0	50.0

■計画

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
対象者数 (人)	10	10	10

⑫ 救急医療情報キット配布事業

救急医療情報キットとは、高齢者や障がい者などの安全・安心を確保することを目的に「かかりつけ医」「服薬内容(写)」「持病」などの医療情報や、「診察券(写)」「健康保険証(写)」などの情報を専用の容器に入れ、冷蔵庫に保管しておくことで、万一の救急時に備えるものです。

本市では、救急医療情報キットを無料で配付します。

2. 施設サービスの充実

① 養護老人ホーム入所措置事業

養護老人ホームは、65歳以上の高齢者等で環境上および経済的理由により在宅での生活が困難な方を対象とした入所施設です。

近隣の市との連携により入所施設の確保を図るとともに、入所者に対して必要な支援を行います。

■実績

区分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込み)
目標	入所者数 (人)	28	28	28	28
実績	入所者数 (人)	28	26	22	25
計画比	入所者数 (%)	100.0	92.9	78.6	89.3

■計画

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
入所者数 (人)	28	28	28

② 生活支援ハウス運営事業

生活支援ハウスは、60歳以上のひとり暮らしの方で、家族による援助を受けることが困難で、高齢等のため独立して生活することに不安な方を対象とした入所施設で、令和2(2020)年度の定員は10人となっています。

生活支援員を配置し、介護機能、居住機能および交流機能を総合的に提供することにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送ることができるよう支援します。

■実績

区分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込み)
目標	入所者数 (人)	9	10	10	10
実績	入所者数 (人)	8	9	10	10
計画比	入所者数 (%)	88.9	90.0	100.0	100.0

■計画

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
入所者数 (人)	10	10	10

(3) 介護人材の確保・育成

団塊の世代が全て75歳以上となる令和7(2025)年に向け、介護を支える従事者の深刻な人材不足が懸念されています。更なる高齢化社会を見据え、地域包括ケアシステムを確立していくためには、介護人材をいかに確保するかが大きな課題となります。

① 介護の担い手研修

介護の専門資格がない人を対象にした介護の入門的な研修として、年2回開催します。介護予防・日常生活支援総合事業の基準緩和型サービス(サービスA)に従事する資格が得られます。また、地域で住民主体の活動を実施するために必要な知識と技術を習得したいという人も対象としています。

② 介護人材確保育成事業

市内に住所がある介護事業所を対象に、事業所が負担する介護職員初任者研修・実務者研修受講費用、喀痰吸引等研修受講費用および介護福祉士資格取得に係る費用の一部を補助することにより、介護の現場で必要な資格の取得を支援し、市内の介護事業所に勤務する介護職員のスキルアップを図り、処遇改善と定着促進を図ります。

■実績

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
目標	対象事業所数 (事業所)		22	22	22
	対象職員数(人)		80	80	80
実績	対象事業所数 (事業所)	32	23	25	20
	対象職員数(人)	63	55	43	30
計画比	対象事業所数 (%)		104.5	113.6	90.9
	対象職員数(%)		68.8	53.8	37.5

■計画

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象事業所数 (事業所)	25	25	25
対象職員数(人)	30	30	30

③ 燕市次世代を担うキャリアテン介護職員等表彰事業 介護・福祉学びの収穫祭

介護の魅力発信とイメージアップとともに介護人材の確保・定着を図ります。

燕市次世代を担うキャリアテン介護職員等表彰事業では、介護職員等が自信と意欲を持って働き続けていただけるよう、次世代を担う若手職員（勤続10年以上）を表彰します。

また、表彰式に合わせ、介護職場のイメージアップを図るため「介護・福祉学びの収穫祭」を開催し、各事業所のPRポスター掲示や介護職員への感謝・応援メッセージの募集と展示、介護・福祉に関する各種講座を実施します。

④ 業務効率化の取り組みの強化

介護職員等に係る業務負担を軽減することにより介護人材の確保・定着を図ります。

業務効率化の観点において県と連携しながら、個々の申請様式・添付書類や手続きに関する簡素化、様式例の活用による標準化及びICT等の活用を進めます。

国や県が補助するICT化や介護ロボット導入支援などの各種補助制度について情報提供します。

4 地域における相互支援システムづくり

(1) 高齢者の家族への支援

家族介護者は、身体的な負担とともに精神的に負担を強いられています。認知症関連事業と介護サービスや高齢者福祉サービスの充実を図りながら、地域の社会資源を活かした一体的な取り組みにより、認知症高齢者や家族等への支援の充実に努めます。

1. 高齢者の家族への支援

① 家族介護者交流事業

認知症の人や認知症の人を介護している家族、専門職、認知症サポーター、地域で暮らす人、誰もが自由に集える認知症カフェ、「オレンジリングカフェ」を市役所で定期的で開催し、認知症に対する知識の普及、最新情報の提供、介護予防（脳トレーニング）の体験等を行います。また、継続して参加してもらうため、地域の脳神経内科の医師や認知症サポート医からのミニセミナー、ハンドアロママッサージ体験、甘味の提供と栄養講座等、メイン企画の内容を毎回変えて開催します。

誰もが地域の身近なサポーターになれるように認知症の知識の普及を行うとともに、認知症の人やその家族の交流により、心身のリフレッシュを図ります。

新型コロナウイルス感染症の影響により、参加人数を制限せざるを得ないため、実施方法等について検討します。

■実績

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込み)
実施回数 (回)	4	4	4	3
延べ参加者数 (人)	141	169	159	75

■計画

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
実施回数 (回)	4	4	4
延べ参加者数 (人)	100	100	100

② 生活支援短期入所事業

介護者の急な事情などにより、一時的に自宅などでの介護が困難な高齢者を対象に、介護保険サービスとは別に、短期入所事業を実施します。

■実績

区分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込み)
目標	延べ利用者数 (人)	60	70	70	70
実績	延べ利用者数 (人)	71	47	57	30
計画比	延べ利用者数 (%)	118.3	67.1	81.4	42.9

■計画

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
延べ利用者数 (人)	60	60	60

③ 在宅介護手当支給事業

在宅で要介護 3 以上の認定を受けている人を介護する家族を対象に、介護者の精神的、経済的な負担の軽減を図るために、在宅介護手当を支給します。

■実績

区分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込み)
目標	支給人数 (人)	754	685	685	685
実績	支給人数 (人)	672	572	600	600
計画比	支給人数 (%)	89.1	83.5	87.6	87.6

■計画

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
支給人数 (人)	685	685	685

2. 家族等介護者の支援

家族等の介護者が抱えている問題は、精神面や体力での疲れなど自身の健康、仕事との両立、経済面等、多岐にわたります。

地域での孤立を防ぎ、精神的な負担の軽減を図ることを目的に、介護者サロン（燕地区1か所・吉田地区1か所）、分水地区介護者のつどい（分水地区1か所）、認知症の人と介護者のつどい（吉田地区1か所）の他、認知症カフェ（市内12か所）が開催されています。

介護者のつどいを継続し家族介護者が地域で孤立しないよう支援します。

また、介護離職防止のために、地域包括支援センターや労働部局等と連携し、家族介護者の相談窓口や支援制度の周知を行い、介護しながら働き続けることができる地域を目指します。

3. 地域で支え合う仕組みづくり

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加、認知症高齢者が年々増加していることから、地域で支え合う仕組みづくりをさらに進めていくことが必要です。

まちづくり協議会の地区ごとに支え合い活動推進委員会を立ち上げ、ふれあいサロンなどの通いの場の設置やワークショップの開催等、特色を持って地域の課題に取り組んでいます。現在7か所の支え合い活動推進委員会を、令和3（2021）年度末までに市内13か所のすべてのまちづくり協議会で立ち上げ、社会福祉協議会と連携し、住民相互の支え合い活動や見守りなど「地域共生社会」の実現に向けて支援するとともに、福祉のまちづくりを推進します。

新型コロナウイルス感染防止のための外出自粛による閉じこもりや引きこもり対策として、通いの場の必要性が高まっています。感染防止対策との両立が大きな課題となりますが、高齢者等の閉じこもり防止や社会参加を促すために、通所型サービスBや介護予防の自主グループなど通いの場の拡大を目指します。

新たな通いの場の立ち上げや活動の継続のために、補助金制度の拡充や介護予防サポーターの養成を実施していきます。

燕市における地域支え合い活動イメージ図

